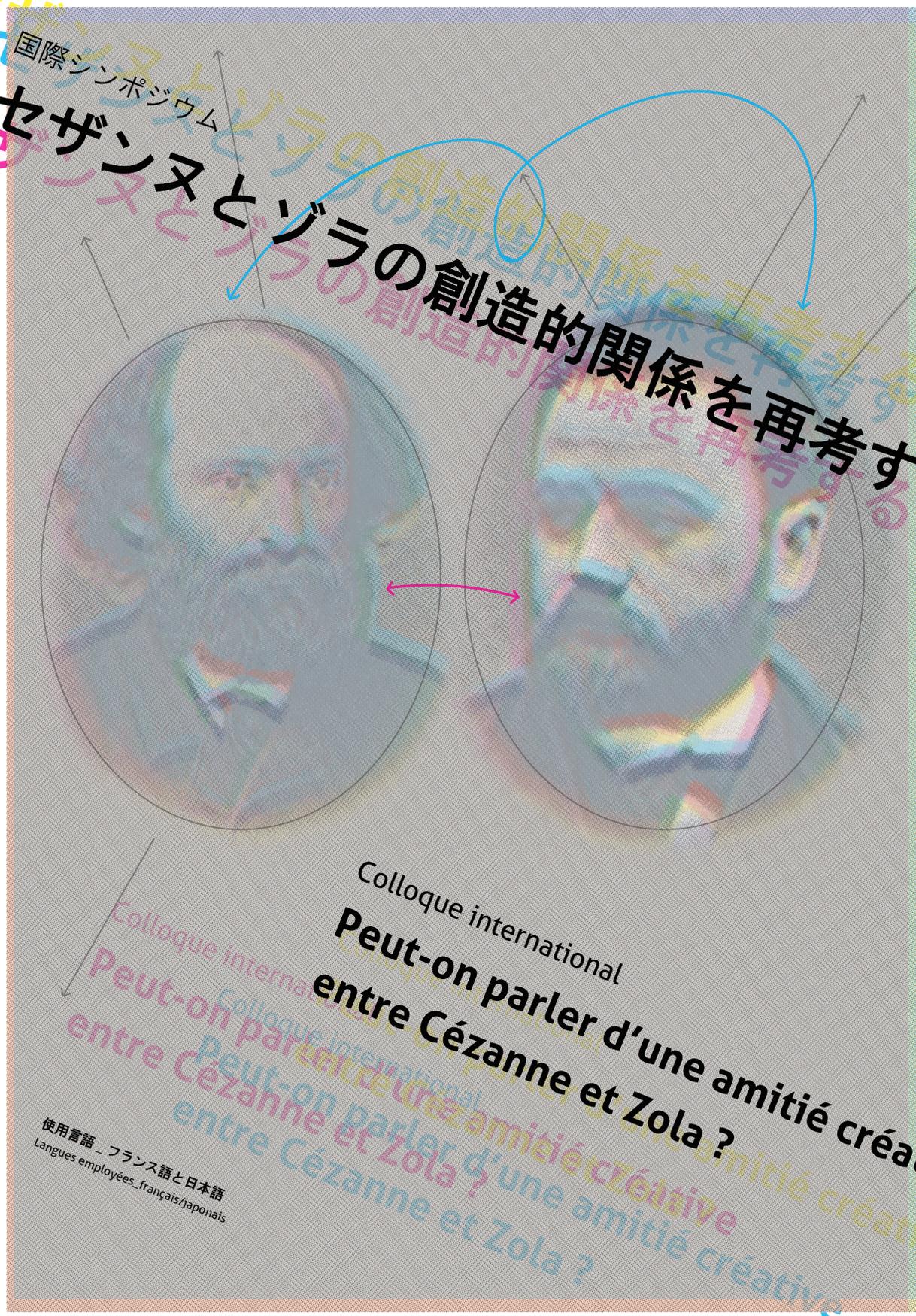


2018.12.2. SUN
10:00-18:00

京都工芸繊維大学松ヶ崎キャンパス東構内東3号館1階 K-101 教室
Lieu: Institut de Technologie de Kyoto, Campus Est Matsugasaki
Bâtiment Est-3, rez-de-chaussée, salle K-101

noya



主催_ 日仏美術学会 / 京都工芸繊維大学大学院造形史研究室 / 神戸大学大学院国際文化学研究所吉田典子研究室

Organisateurs_ Société franco-japonaise d'art et d'archéologie /
Bureau d'histoire de l'art et de design de la section Design et Architecture de l'Institut de Technologie de Kyoto/ Bureau de Noriko Yoshida de l'Université de Kobe

助成_ 笹川日仏財団

Subvention_Fondation Franco-Japonaise Sasakawa

協力_ 科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金) 基盤研究(C)

(一般) 吉田典子「近代芸術形成期における文学と絵画の協働に関する研究」

Collaboration_Subvention de la Société Japonaise pour la Promotion de la Science, Recherche fondamentale (catégorie C)

Noriko Yoshida, « Les interactions entre littérature et peinture aux débuts de l'art moderne »

後援: 美術史学会

Patronage_La société japonaise d'histoire de l'art



FONDATION
FRANCO
JAPONAISE
SASAKAWA

国際シンポジウム

セザンヌとゾラの創造的関係を再考する

2018年12月2日 10:00-18:00

京都工芸繊維大学松ヶ崎キャンパス東構内東3号館1階K-101教室

司会進行_大久保恭子(京都橘大学)

Président_Kyoko OKUBO (Université Tachibana Kyoto)

10:00 ~ 10:10

趣旨説明_永井隆則(京都工芸繊維大学)

Présentation des objectifs_Takanori NAGAI (Institut de Technologie de Kyoto)

第1の視点 セザンヌ研究

Premier point de vue : Recherche sur Cézanne

10:10 ~ 11:10

ドニ・クターニュ(ポール・セザンヌ協会)_特異な友人 セザンヌ
Denis COUTAGNE (Société Paul Cézanne)_Cézanne, l'ami insolite

11:10 ~ 12:10

ジャン・アルルーユ(エクス・マルセイユ大学)_河から山まで、セザンヌの絵画に付きまとうゾラの思い出

Jean ARROUYE (Université d'Aix-Marseille)_Du fleuve à la montagne, le souvenir lancinant de Zola dans la peinture de Cézanne

12:10 ~ 13:30

昼休憩 Pause déjeuner

13:30 ~ 13:50

浅野春男(美術史家)_ゾラを描くセザンヌ

Haruo ASANO (Historien d'art)_Cézanne peint Emile Zola

13:50 ~ 14:10

永井隆則(京都工芸繊維大学)_ゾラはペンで、セザンヌは絵筆で弾劾する
Takanori NAGAI (Institut de Technologie de Kyoto)_Zola accuse par sa plume, Cézanne par son pinceau

14:10 ~ 14:20

小休憩 Pause

第2の視点 ゾラ研究

Deuxième point de vue : Recherche sur Zola

14:20 ~ 15:20

アラン・パジェス(パリ第3大学)_メダンのセザンヌ

Alain PAGÈS (Université Paris III)_Cézanne à Médan

15:20 ~ 15:40

吉田典子(神戸大学)_セザンヌ/ゾラ:絵画と文学

Noriko YOSHIDA (Université de Kobe)_Cézanne / Zola : peinture et littérature

15:40 ~ 16:00

寺田寅彦(東京大学)_セザンヌとゾラ:記憶の場

Torahiko TERADA (Université de Tokyo)_Cézanne et Zola : les lieux de mémoire

16:00 ~ 16:20

高橋愛(法政大学)_セザンヌ-ゾラ書簡における画家と作家の関係

Ai TAKAHASHI (Université Hosei)_La correspondance entre Cézanne et Zola : l'artiste et l'écrivain

16:20 ~ 16:40

小休憩 Pause

16:40 ~ 18:00

第3の視点 全体討議(司会_永井隆則)

Troisième point de vue : Débat présidé par Takanori NAGAI

閉会挨拶_大久保恭子(京都橘大学)

Discours de clôture_Kyoko OKUBO (Université Tachibana Kyoto)

登壇者紹介

Présentation des participants



ドニ・クターニュ Denis COUTAGNE

ポール・セザンヌ協会会長。プザンソン美術館、グラネ美術館元館長兼学芸課長。「セザンヌとパリ展」(2011)、「セザンヌ パリ / プロヴァンス展」(2012)、「セザンヌ / クール展」(2013)などを企画。著書に、「Cézanne en vérité」(2006)、「Cézanne abstraction faite」(2011)など。



ジャン・アルルーユ Jean ARROUYE

エクス・マルセイユ大学名誉教授。1981、博士(プロヴァンス大学、「Vie et mort de l'allégorisme」/1984、博士(パリ第1大学、「L'invention du paysage provençal」)。専門は、記号論、シュルレアリスム研究とセザンヌ研究。



浅野春男 Haruo ASANO

元・沖縄県立芸術大学教授。専門はフランス近代美術史。学習院大学大学院博士課程満期退学。DEA(パリ第四大学)。著書に『セザンヌとその時代』(東信堂、2000)、『セザンヌと一緒にカード遊び』(2017、私家版)など。



永井隆則 Takanori NAGAI

京都工芸繊維大学准教授。DEA(プロヴァンス大学)。博士(文学)(京都大学)。専門はフランス近代美術史。著書に『セザンヌ受容の研究』(中央公論美術出版、2007)、『く場所>で読み解くフランス近代美術』(三元社、2016)など。



アラン・パジェス Alain PAGÈS

パリ第三大学名誉教授。フランス文学国家博士。専門は、エミール・ゾラ研究、19世紀後半の自然主義文学研究、およびドレフュス事件史。著書に、「Le Naturalisme」(PUF、1989;邦訳『フランス自然主義文学』白水社、2013)、「Zola et le groupe de Médan」(Perrin、2014)など。



吉田典子 Noriko YOSHIDA

神戸大学教授。博士(文学)(京都大学)。専門はフランス近代文学と絵画。主な論文に「マネと〈自然主義〉」(永井隆則編『探求と方法』、晃洋書房、2014)、「商業と美術」(喜多崎親編『パリ | 19世紀の首都』、竹林舎、2014)など。



寺田寅彦 Torahiko TERADA

東京大学教授。博士(パリ第七大学)。専門は仏文学・比較文化。主な論文に、「文学と絵画」(小倉孝誠編『十九世紀フランス文学を学ぶ人のために』世界思想社、2014)、「ゾラ没後十年と日本近代文学」(『比較文学研究』第100号、東大比較文学会、2015)など。



高橋愛 Ai TAKAHASHI

法政大学准教授。DEA(ストラスブール第二大学)、博士(文学)(大阪大学)。専門はフランス近代文学。主な論文に「ゾラの小説における意匠の女——近代都市パリへのまなざし」(『社会志林』第58巻4号、法政大学社会学部学会、2012)など。

問い合わせ先

京都工芸繊維大学大学院デザイン・建築学系造形史研究室
t-nagai@kitac.jp

アクセス

交通案内_地下鉄烏丸線(JR京都駅から国際会館行、または阪急烏丸駅下車、四条駅から国際会館行)松ヶ崎駅下車、東へ徒歩20分

